

文書番号	情シ開発2-1
版	1
制定年月日	
実施年月日	
改訂年月日	

情報システム部

# システム開発標準化 細則: AS / 400編

〇〇株式会社

××県××市××町123

Tel. 0123-45-6789(代表)

# 改訂履歴

版	改訂 年月日	改訂・廃止 内容と理由	承認	確認	作成

〇〇株式会社	システム開発標準化細則:AS/400編	文書番号	情シ開発2-1
		版	1
		頁	3

## 目次

### 【1】ライブラリー

1. ライブラリー名
2. 各ライブラリーの内容

### 【2】データベースファイル

1. ファイル名
2. レコード様式名
3. フィールド名
4. データエリア
5. データベースファイル設計上の留意点

### 【3】画面ファイル

1. ファイル名
2. レコード様式名
3. フィールド名
4. 画面ファイル設計上の留意点
5. ファンクションキー
6. メッセージ
7. 画面設計用紙の記入法

### 【4】印刷ファイル

1. ファイル名
2. レコード様式名
3. フィールド名
4. 印刷ファイル設計上の留意点

### 【5】プログラム

1. プログラム名
2. コマンド名
3. サブルーチン名
4. タグ名
5. 例外出力名
6. 配列名
7. 指標名
8. キーリスト名
9. パラメーターリスト名
10. データ構造名
11. ワークフィールド名
12. コーディング上の留意点
13. 標識
14. コーディング例

### 【6】DFU, QUERY

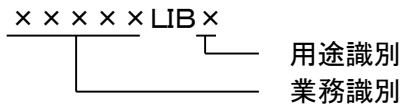
### 【7】文字の書き方

### 【8】オブジェクトの保守

〇〇株式会社	システム開発標準化細則:AS/400編	文書番号	情シ開発2-1
		版	1
		頁	4

## 【1】ライブラリー

### 1. ライブラリー名



- ・用途識別(1つのライブラリーで全てのオブジェクトを管理する場合は使用しない)

S・・・ソース  
 P・・・プログラム、画面ファイル、印刷ファイル等  
 F・・・データベース  
 J・・・ジャーナル

- ・業務識別  
3～5文字の範囲で識別できるよう工夫する

### 2. 各ライブラリーの内容

- ・ソースファイルライブラリー

XXXLIBS  
 QRPGRSRC・・・RPG  
 QDDSSRC・・・PF、LF、DSPF、PRTF  
 QCLSRC・・・CLP  
 QCMDSRC・・・CMD

- ・プログラムライブラリー

XXXLIBP  
 RPG, CLP, DSPF, PRTF, CMD,  
 DFU, QUERY, OUTQ, JOB, MENU

- ・データベースライブラリー

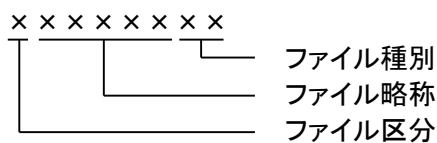
XXXLIBF  
 PF, LF, DTAARA

- ・ジャーナルライブラリー

XXXLIBJ  
 JRN, JRNRCV

## 【2】データベースファイル

### 1. ファイル名



- ・ファイル種別(1～2桁)

P・・・物理ファイル  
 L×・・・論理ファイル(L1～LZ, M×, N×, O×)  
 R×・・・複数様式論理ファイル(R1～RZ)  
 J×・・・結合論理ファイル(J1～JZ)

- ・ファイル略称(3～5桁)

原則として日本語名称のローマ字読みの頭5文字を使用する  
 文字列から日本語名称を類推できるよう工夫する

- ・ファイル区分(1桁)

C・・・通信  
 M・・・マスター  
 J・・・実績  
 R・・・履歴  
 T・・・トランザクション  
 W・・・ワークファイル

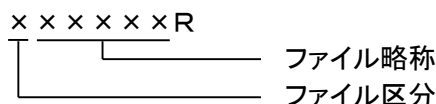
〇〇株式会社	システム開発標準化細則:AS/400編	文書番号	情シ開発2-1
		版	1
		頁	5

特定のプログラムでのみ使用するワークファイル・W+プログラムID+P

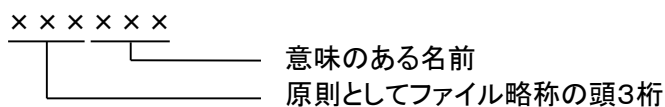
・ネーミング例

CJUCHUP	受注受信データ	MZAIKOP	在庫マスター
CSYUKAP	出荷送信データ	JJUCHUP	受注実績ファイル
MCNST×P	コンスタントファイル	JHATCHP	発注実績ファイル
MCNTR×P	コントロールファイル	RJUCHUP	受注履歴ファイル
MMSGP	メッセージファイル	RHATCHP	発注履歴ファイル
MCALENP	カレンダーファイル	TJUCHUP	受注トラン
MTANTOP	担当者マスター	THATCHP	発注トラン
MHINMOP	品目マスター	TSIIREP	仕入トラン
MSIIREP	仕入先マスター	TURIAGP	売上トラン
MSIHINP	仕入先品目マスター	TNYUKIP	入金トラン
MTOKUIP	得意先マスター	TSIHARP	支払トラン
MSOSIKP	組織マスター	TUKEHAP	受払トラン
MBUKAP	部課マスター		

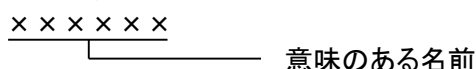
2. レコード様式名



3. フィールド名



4. データエリア



5. データベースファイル設計上の留意点

- ・物理ファイルの設計に当たっては、データ項目間の関連性が冗長でなくかつデータの纏まりとして意味を失わないように十分に分析する(正規化)
- ・物理ファイルには、主キー及びUNIQUEの有無を設定する
- ・物理ファイル作成時にパラメータの設定を省略時以外の値に変更する場合は、その旨を必ずソース上に特記事項として記述しておく
- ・作成日、作成時刻、作成WS、更新日、更新時刻、更新WSを必ず設定する
- ・データ項目のCOLHDGは、ひとつだけ設定する
- ・データ項目がフラグの場合は、属性を1Aとし‘0’‘1’のみを使用する
- ・データ項目がフラグもしくは区分の場合は、その内容をTEXTで記述する  
(TEXTで記述できる量でない場合は、必ず別途書面に記述する)
- ・データ項目がコードもしくは伝票No.・受注No.の類いの場合は、属性をAとする
- ・データ項目が日付の場合は、8S0とする
- ・データ項目が時刻の場合は、6S0とする
- ・複数様式・結合各論理ファイルは、できるだけ使用しない